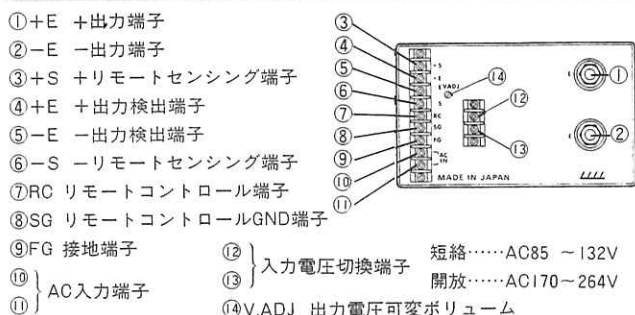


## 1. 端子配列・ボリューム



## 2. 入力電圧の切換え

■入力切換端子⑫⑬を、短絡又は開放することで、AC100V系とAC200V系のどちらでも使用できます。

■短絡……AC85 ~ 132V ■開放……AC170 ~ 264V

■誤接続があると、電源が破壊することがありますので、入力切換端子の状態を確認の上使用ください。

## 3. 機能説明

### ■3.1 過電流保護

- 定格電流の110 ~ 140%の電流で保護回路が動作します。
- 過電流となる原因を取り除くと、出力は自動的に復帰します。
- 過電流状態での使用は、電源の寿命を縮めますので、出力電流が定格内に入っていることを確認のうえご使用ください。

### ■3.2 過電圧保護

- 定格電圧の115 ~ 140%以上の電圧が出力に出ると、過電圧保護回路が動作して出力を遮断します。
- 復帰は、入力電源の再投入で行なえますが、必ず原因を取り除いてから行なってください。

### ■3.3 リモートコントロール

■RC端子とSG端子を短絡すると出力ON、開放するとOFFとなります。

またTTL、トランジスタ、及びリレー接点でも制御できます。

### ■3.4 出力電圧可変

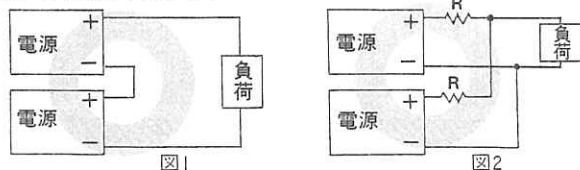
■出力電圧の可変は前面パネルのV.ADJのボリュームで行ない、右回転で高く左回転で低くなります。可変範囲は出力電圧の±10% (定格入力、定格負荷時)です。なお、V.ADJのボリュームを回しすぎると過電圧保護回路が動作することがあります。そのときはV.ADJのボリュームを左方向へ回してからAC入力を再投入してください。

## 4. 直列・並列運転

■2台以上の電源を直列運転 (図1) される場合は定格以上の電流が流れないように注意して行なってください。

■出力電流が不足する場合、図2の方法で並列運転が可能です。この時抵抗Rの電圧降下は1 ~ 3%に選んでください。

■負荷変動が問題になり直接並列に接続して運転したい場合には当社へご相談ください。



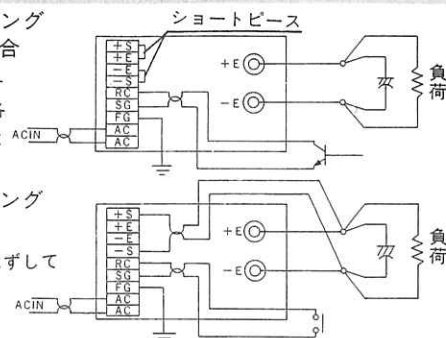
## 5. 入出力端子への配線

### (1) リモートセンシングを行なわない場合

■ショートピースで+Sと+E、-Sと-Eが各々短絡されていることを確認してください。

### (2) リモートセンシングを行なう場合

■ショートピースをはずして配線してください。



■出力負荷線は+E、-E端子 (海式ターミナル) に接続し、+E<sub>1</sub>、-E<sub>1</sub>端子 (端子台) への接続は絶対に避けてください。

■出力負荷線は太く短く配線し、ラインドロップは0.3V以下にしてください。

■AC入力線と出力負荷線は分離し、AC入力線はツイストして下さい。耐ノイズ性が向上します。

■リモートセンシングのセンス線はツイストするか、シールド線をご使用ください。

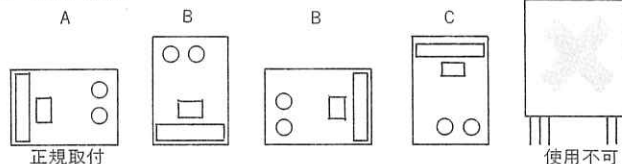
## 6. 取付けネジ

■電源の取付方法は、取付けネジと内部部品との絶縁距離を保つため、取付けネジの電源内に入る長さは5mm以下にしてください。

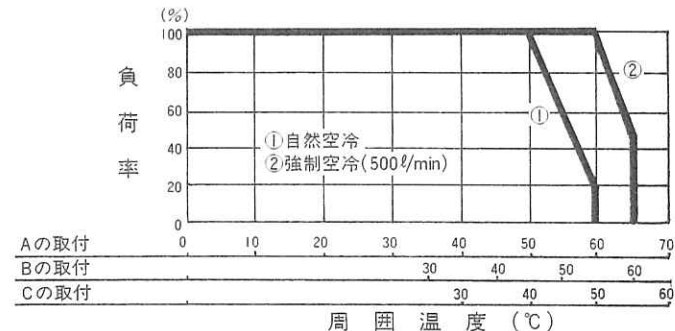
## 7. 出力ディレーティング

■HD300を定格温度以上、正規取付以外及び強制空冷で使用されるときは次の要領でご使用ください。

### (1) 取付方法



### (2) ディレーティング表



## 8. 複数の電源の使用

複数の電源を並べてご使用になる場合は電源の間隔は60mm以上開け、下面から上面への自然対流を考慮してください。

